

REGIONAL ALERT DIRECT の特徴と優位性

- **Jアラートや防災行政無線放送を住民のスマホへ自動転送一斉放送します。**
 - ☞ 自動転送放送により放送の二度手間は発生しません。（深夜でも自動転送放送）
 - ☞ 接続する防災行政無線機等は、メーカーを問わずデジタル/アナログどちらでも運用いただけます。
- **ブラックアウトになっても「職員のスマホ」から「音声放送」「文字放送」を一斉放送できます。**
 - ☞ 場所を問わず職員のスマホから住民のスマホへ避難勧告や避難指示などの緊急放送を一斉放送できます。
 - ※ 職員は避難しながら（身の安全を守りながら）一斉放送できます。
 - ※ 庁舎倒壊等で立ち入りが困難になった場合でも仮設の災害対策本部から職員のスマホで一斉放送できます。
 - ※ 避難所/避難場所、医療機関、災害現場など“複数地点からスマホで実況中継”で多元放送できます。
 - ※ 刻々と変わる膨大な防災情報をリアルタイムに一斉放送できます。
 - ☞ 音声放送は、防災行政無線特有の反響音や共鳴音を意識する必要が無いため、通常の会話スピードで放送できます。
 - ☞ 文字放送は、メール配信とは異なり、遅延配信や他のメールに埋もれてしまうと云ったことが起こりません。
 - ☞ スマホ非所有者に向けては、登録制メール配信システムとの自動連係によりメール配信を可能にします。〔外部連携オプション〕
 - ☞ ブラックアウト、Jアラート受信機や防災行政無線設備の不具合、登録制メール配信のトラブル、パンザマスト倒壊による情報伝達の寸断と云った場合でも、強力なバックアップ放送システムとして機能します。
- **放送視聴率が大幅に向上します。**
 - ☞ 日常的に戸別受信機や防災ラジオを持ち歩くことはしませんが、スマホは常時携帯されることから視聴率が大幅に向上し防災効果が期待されます。
- **インターネットが通じるところならどこでもリアルタイムで視聴できます。**
 - ☞ 自治区を離れ隣町へ出勤する通勤者も、地元の防災行政無線放送をリアルタイムで視聴できます。
 - ☞ 高齢の親御さんと離れて暮らすご家族や親せき関係者は、親御さんが住む自治体の防災行政無線放送を遠地でもリアルタイムで視聴できます。
 - ☞ 出張先や海外渡航先でも防災無線放送をリアルタイムで視聴できます。
 - ☞ 密閉されたオフィス内や公共交通機関内でも防災無線放送を視聴できます。
- **利用者は居住する自治体の専用アプリをダウンロードするだけで利用いただけます。**
 - ☞ 個人情報の事前登録や特殊な設定は一切不要です。
- **防災無線放送は専用アプリを「2タップ」するだけで視聴頂けます。**
 - ☞ 放送開始のプッシュ通知や音声ガイダンスが届いたら“アプリを2タップするだけで視聴”できます。
 - ※ 高齢者にも簡単操作のバリアフリー。
 - ☞ 放送を聴き逃したり会議中で聴けなかった場合でも直近の放送を再視聴できます。（文字放送でも確認できます）
- **災害時には、住民からのSOS投稿を役所、消防署、警察署、医療機関等と組織横断的にリアルタイムで情報共有できます。**
 - ☞ 閉域網型SNSにより、投稿情報が外部に流出したり入り込むことはありません。
 - ☞ 投稿機能は必要に応じて「有効/無効」にすることが出来ます。（無効の場合、投稿ボタンは非表示）
 - ☞ 住民からの投稿を直接受信した管轄部署や通知を受けた連携部署（組織・団体・機関など）は、情報連絡網の経路、通過点、対応状況を管理モニターで一目で監視・把握できます。〔拡張オプション〕
- **各種防災関連情報を一つのアプリから利用できます。〔キュレーション機能（メディアリンク）〕**
 - ☞ 分散する様々な防災関連情報サイトや防災アプリを弊社アプリから利用いただける機能で、自治体が保有する情報サイトや防災アプリのほか防災や市民生活に役立つ各種メディアを弊社システムアプリにメディアリンクすることで一つのアプリからご利用いただくことが可能になります。
 - ☞ また、例えばNHKが提供するインターネットラジオ「らじる★らじる」やインターネットテレビ「AbemaTV(アベマTV)」などもメディアリンクでき、「いざ」という時でも即座に視聴することもできます。（事前承認が必要）
- **行政の放送運営に係る業務の簡素化と費用削減を可能にします。**
 - ☞ 個人情報の登録や維持管理などの手間や煩雑な作業は一切不要です。
 - ☞ 機器の設置、アンテナ取り付け工事、機器のメンテナンスや交換のための要員確保やそれらに伴う費用が発生しません。